



2015~16 年度 国際ロータリーテーマ
「世界へのプレゼントになろう (Be a gift to the world)」
RI 会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン
2015~16 年度 関ロータークラブテーマ
「 ONE FOR ALL , ALL FOR ONE 」 第 50 代会長 藤井 淳

第 2404 号 平成 28 年 2 月 17 日 (水)

前例会の記録 第 2403 回 2 月 9 日(火)12:30

「新会員スピーチ」
塚田浩孝さん・西田泰幸さん

- ◆開会点鐘
- ◆「我らの生業」斉唱
- ◆会長挨拶 藤井淳



目の錯覚って、ありますよね。例えば、
図 1 のような図形が有名です。図 2 のよ
うに点線を引くと同じ長さだと判ります。

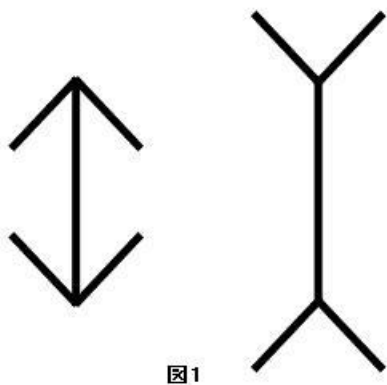


図1

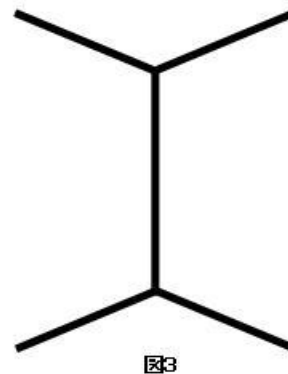


図3

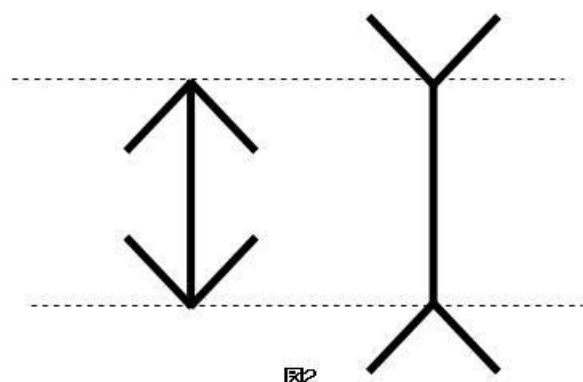


図2

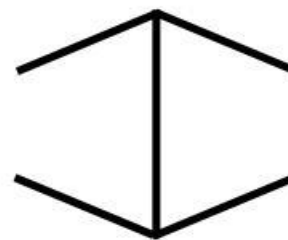


図4

でも、同じ長さの線が、どうして違って見えるのでし
ょうか？その答えは、脳にあるといいます。目から入
った情報は、実は、そのままでは不完全です。だから、
脳の働きにより、細部の情報を補って、鮮明な映像に
しているそうなのです。さらに、目に見える世界を「奥
行きのあるもの = 3D」として理解しているのも、
脳だといいます。例えば、図 3 を見ると、脳は、真ん
中の線を「遠くの隅」であると理解します。そのため、
実際は見た目より長いに違いないと、脳は思い込むそ

うなのです。同じように、図 4 の形は、真ん中の線を

「近くの角」だと、脳は理解します。だから、(手前にあるので)実際は、短いと判断する。このように、平面(2D)にある世界を、脳が補完し立体(3D)として理解するので、錯覚が起きるのです。この脳の機能により、我々は奥行きを感じることができます。でも、同時に、錯覚する場合もあるということです。我々は実は、目に入ってきている情報をそのまま見ては、いないようです。脳によって足りない情報を補っている。あるいは、すばやく処理するために、頭の方で大胆な処理をしているのだそうです。ただ、時には、「そうでないこと」が起こるわけで、その際に、脳の処理と現実との間にギャップが生じ、錯覚が起こるわけです。

(先程、脳によって足りない情報を補っているとお話ししましたが、例えばデジカメ、スマホのカメラはデジタル処理をして、より鮮やかに見えるように処理しています。撮った写真と実物をその場で比べてみるとよくわかります。同じように脳でも画像処理をしていると考えられます。)音に関しても脳内で音声処理をしているようで、人は本来は無い音を聞いてしまうことがあります。例えば、途切れ途切れに聞こえる音楽も、脳は聞こえない部分を想定して補い、「多分こんな音楽なんだろうな」というのを、聞かせる。ある意味、脳内再生させる。これは人の言葉でも同じで、何らかの事情で途切れ途切れになっても、脳が欠けた部分を補ってくれて、「たぶんこんな風に言っているのだろう」というのを、聞かせてくれます。これは助かる働きでもあるのですが、ある場合においては、困った働きにもなります。あくまで「想定したもの」なので、間違えることもあるのです。思い込むことが、ある。背中越しに聞こえるような、よく聞こえない言葉には、こんな畏があるので注意した方が良さそうです。

さて、こういうことは、いろんなところで生じています。何かを当たり前とした時、我々はそれをいちいち確認しません。でも、時には、当たり前ではないことが、生じているかもしれません。「〇〇は、こんなもんだよね」としていることが、実は、そうでないかもしれない。概ねそうであるにしても、そうでない限定された状況が、あるかもしれない。その時に、「〇〇は、こんなもんだよね」と切り捨てたら、どうなるでしょうか?あるいは、自分を基準とした時、他は△△に見えるかもしれません。でもそれは、他の人から見れば、ちょっと違うかもしれない。はやい人を基準にすれば、他は遅く感じるかもしれない。あつい人を基準にすれば、他を冷たく感じるかもしれない。でも、ひょっとしたら、それらの基準が極端であって、本当は、はやすぎたり、あつすぎたりしているのかも

しれません。我々は、「そういうもの」となってしまったものを、いちいち確認しません。「そういうもの」だと思えば、検証せずに、「そういうもの」だとして処理する。でも、時代や環境、置かれた状況が変わる以上、いつまでもそれが「そういうもの」かどうかは、分かりません。確かに、前は「そういうもの」だった、でも、今はどうでしょう?確かに、概ね「そういうもの」だ、でも、時には違うかも知れません。きっとこういうのは、「認知の歪み」にも、関係するのでしょうか。ということで、思い込みがあると見逃したり、間違ったりすることがあるわけです。見えている物や聞こえている音が、時と場合によって実際の物や音と違っているかも知れないことを知っておく必要があります。

◆委員会報告

◎出席委員会 副委員長 岩倉宏幸

会員 46 名中 出席 33 名 出席率 75.00%

◎ニコボックス委員会 委員 西本理美

会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日はお弁当が届かず申し訳ございません。西田先生、塚田さん、楽しいスピーチを期待しております。

野口、佐藤、常川、酒井、長尾、杉浦、加藤(浩)、後藤、小原、林(昇)、尾崎、西本の皆さん・・・西田さん、塚田さん、本日は新会員スピーチご苦勞様です。二人のお仕事はいろいろと興味があります。楽しみにしています。

◆「新会員スピーチ」 塚田浩孝



本日は歴史ある関ロータリークラブへご入会ささせていただきました。誠にありがとうございます。また新会員スピーチの時間もいただきました。重ねてお礼申し上げます。今回のスピーチの内容は『人材派遣会社から見た日本の労働力について』を、弊社の会社紹介と

ともにスピーチさせていただきます。株式会社ダイシンはダイシングループとして関市を拠点に、27年間にわたって総合人材サービス業(人材派遣・人材紹介・業務請負・人材コンサルタント)に邁進してきた会社でございます。企業様、そして働くスタッフのご要望に合わせてタイムリーに、正確に、そして安全に企業様と人材のマッチングを事業として行ってまいりました。

私たちが総合人材サービス業者として大切にしているのは「人材と企業様の架け橋」になることです。その人材は材料の『材』ではなく、財産の『財』であり当社では人材を『人財』として、自信を持って企業様に派遣

をご提案いたします。派遣スタッフに対しては一人ひとりに合った生き生きと働けるステージをご紹介します。ダイシングループは徹底した現場志向で地域社会、家庭、企業様と全体を最適化できる仕組みをご提案し、企業様と人財の幸せを追究していくことを目指しています。

さて、現在日本は人口減少社会に突入しました。これは、①国内市場の縮小、②労働力の減少、③資本蓄積の低減を意味し、未来の日本の成長を阻害する最大の課題です。このままでは日本の経済社会は衰退の道をたどることになります。政府では、経済財政諮問会議に「選択する未来」委員会を設置して、長期的な展望に立って、未来の日本の豊かさを維持・向上させるため実施していかなければならない政策について検討をはじめました。

しかし、労働力の減少については、女性や高齢者にフルに活躍してもらってもなお労働力不足は解消できません。特に、建設関連、医療・介護などいくつかの分野では深刻な事態が予想されます。製造関係にはすでに技能実習生を含む外国人労働者が活躍しております。アジア諸国など海外には豊富な若い労働力があり、仕事がないのが実情です。こうした海外の人財を適切に活用する必要があります。

現在、建設分野での技能研修制度の拡充が検討されていますが“急場しのぎ”の感は否めません。外国人労働者の受入れは、日本のこれまでの雇用のあり方を大きく転換することであり、慎重に検討しなければなりません。また、人口減少は高齢化社会と少子化問題を発端にして、当然ながら労働者が減ることがあっても増える結果にはつながりません。そこで派遣の担う役割として、非労働力人口から労働力人口に転換する一つの手立てとしてダイシングループは「企業様と人財の架け橋」となるべく、一層の努力を重ねてまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

◆「新会員スピーチ」 西田泰幸



このたび関ロータリークラブに入会させていただきました、西田泰幸と申します。どうぞよろしくお願いいたします。自己紹介をさせていただきますと、私は昭和39年4月14日に岐阜市で生まれ、物心がついた頃に関市の隣である岐阜市北山団地に移り住

みました。折しもベビーブーム、住居難であったのか、山を切り崩して宅地を造成、急作りの木造平屋建てで

道路は未舗装というありようでした。スーパーマーケットも小売り商店も無いため、軽トラックに商品をのせた移動八百屋がやってきて食材を買い求めていたと記憶しています。小学校にあがる準備は関の本町商店街で買いそろえたことも懐かしい思い出であります。地元中学から美濃町線に乗って岐阜高校へ、そして岐阜大学へと平凡な進学をして、まあなんとか医師免許をもらって岐阜大学の泌尿器科教室に入局、岐阜市を中心に近場の医療機関を転々として医師としての修行をしました。私は医師の本分は出世や名誉、経済的繁栄を目指す処に無く『単なる社会資本の一部』と考えておりましたので、どこに行けばお役に立てるか考えて関市を選びました。平成23年に緑町2丁目、旧中濃病院駐車場跡地に『にしだ泌尿器科クリニック』を開院しております。うれしいことに地元の皆様にもそして武儀医師会の先生方からも大変かわいがっていただきまして、またその縁により、本会への入会を誘っていただきましたので、喜んで入会させていただいた次第です。医師業をもって医療以外にも地域社会に奉仕ができればこれにすぐる喜びはありませんが、まだロータリズムのことは少しもわかっておらず会員の皆様との交流をもって学んでいきたいと思っております。話はかわりますが、私は酒、スポーツ、音楽は全くダメで趣味はプラモデルと内向的オタク人間でして、社交性に乏しいこともあり、いろいろとご不快を与えるかもしれませんがどうかよろしくお願



いいたします。

◆幹事報告

◎次年度委員会構成表配布

次例会のご案内 2月23日(火)12:30
会員卓話「ふるさと納税について」
古田貴巳さん 担当：クラブ奉仕委員会

例 会：毎週火曜日 12:30 (第3週は水曜日に 18:30)
例会場：岐阜県関市本町 6-20 大垣共立銀行関支店2F
事務局：岐阜県関市平和通 7-10-25 アメリカ